

具体項目

地図

観点		東京書籍	帝国書院
1 豊振教育 な基基 人本法 間計法 性画の のの理 育趣念 成旨や を・第 図内容 上を長 で踏崎 のま県 特え、 育	(1) か構育がの及て教 成成目達び、科 に指成「の 資す「教育 な「育育 つ間本の質 て内像目目 い容、教標的 る「育」に じ	・「日本の自然環境（災害・環境問題）」では、火山や地震の分布、主な公害のほか、東日本大震災発生時の地震と津波の状況に関する資料が示されている。また、ハザードマップの例が掲載されており、防災の学習を通して、命を重んじる態度の育成につながるよう工夫されている。 ・「世界と日本の人口」では、世界の人口問題に加え、日本の老年人口の割合や、過疎地域の分布、合計特殊出生率の推移等、多くの視点を基にしたグラフが掲載されており、我が国が抱える社会問題に対し、主体的かつ積極的に社会とかかわっていこうとする態度の育成につながるよう工夫されている。	・「世界のページ」では、各州において「日本との結びつき」のコーナーが設けられるとともに、巻末の「資料図」では様々な項目について日本と世界の結びつきに関する資料が多く掲載されており、国際社会に主体的に対応していこうとする態度の育成を図ることができるよう工夫されている。 ・「日本のページ」では、随所に「防災」のコーナーが設けられており、また巻末の「資料図」には「日本の災害と防災」のページが新設されている。過去の自然災害の教訓に基づいた資料を掲載することにより、命を大切にしようとする心がはぐくまれるよう工夫されている。
	(2) れにい文郷 て生て化土 いか理や「 せ解歴長 かるを史崎 題深、 材め自の がる然伝 扱学に統 わ習つ・	・「世界の生活・文化」では、日本にあるキリスト教の教会（カトリック）の紹介で、大浦天主堂の写真が掲載されており、国内の他地域の教会の様子と比較することができる。「日本の自然環境」では、長浦岳（長崎県長崎市）の1時間降水量が日本最多であること、県内に国立公園やジオパークが存在することが示された資料が掲載されている。 ・「九州地方」で、対馬のあわびや五島のうどんなど、本県の各地域の特産物のイラストが掲載されている。「九州地方の火山と温泉・地熱発電所」では、主な火山として、雲仙岳が掲載されている。	・「九州地方の自然・産業・くらし」では、出島や長崎くんち及びはまちの養殖やみかんが、イラストを使って分かりやすく掲載されている。また、原爆の被害と現在の土地利用を示した長崎市の鳥瞰図が掲載されていたり、「日本の生活・文化」では重要伝統的建造物群保存地区として、港町の長崎市や武家町の雲仙市が地図中に掲載されたりしている。 ・「日本の地形と守りたい自然環境」では、地図中に雲仙天草国立公園が掲載されており、また島原半島ジオパークは地図とともに写真で紹介されている。また「日本の災害と防災」では、主な火山として、雲仙岳が掲載されている。
2 成学 を習 図指導 る上要 で領 の特 目標 や内 容等 を踏 ま え て 確 かな 学 力 の 育	(1) れ得識基 てさ・礎 いれ技的 る能・ かよが基 う確本 工実的 夫にな さ習知	・写真資料の解説が簡潔に記載されており、基礎的な知識の習得に活用できるよう配慮されている。また、それぞれの写真に関連する地域のページ番号が記されているため、該当するページを調べることで、身に付けた知識を深めたり、広げたりできるよう工夫されている。 ・地図で表されている地域が、世界や日本の中のどこに位置しているかを分かりやすく示すために、地球儀や日本地図のイラストをふんだんに用意しており、生徒の理解を助けるよう工夫されている。	・地図で表されている地域が、世界や日本の中のどこに位置しているか分かるよう位置を示すとともに、「地図をみる目」のコーナーで、読図の着眼点が明確に示されており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう配慮されている。 ・索引に世界遺産や歴史地名・事項のマークを明示するとともに、テーマに応じて年表や史跡のイラスト、時代別の地図等を用いて歴史的分野との関連を図ることにより、基礎的・基本的な事項の習得ができるよう工夫されている。
	(2) 夫が判めて知 さ育断に課識 れてさ、要を いる表な解能 か。現思決を よ力考す活 う等力る用 工等、たし	・全体を通して、関連資料のページを示した「ジャンプ」の項目があり、他の複数の資料と比較することができ、資料活用を高め、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。 ・キャラクターのふきだしには、資料読み取りのヒントが記されており、グラフや資料等を適切に読み取らせた上で、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。	・地図中や資料図の「やってみよう」のコーナーにおいては、読み取ったことを関連付けたり、新たな視点から調べたりすることを促すなど、多様な学習が提示されており、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。 ・「気温と降水量」「言語と宗教」「人口」など、世界の諸地域において同じテーマの資料を用意し、他の地域と比較する活動を通して、相違点や特色を考察し、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。
	(3) かう習組主 工習む体 夫が度に さ身を学 れに養習 て付に取 いく、取 るよ学	・世界や日本の諸地域に、その地域に応じた「テーマ資料」が掲載されており、その中にある地図やグラフ、写真等を比較したり、関連付けたりすることで、生徒が主体的に、その地域の特色や課題に迫ることができるよう工夫されている。 ・巻末の索引には、遺跡や公害問題等の「事項別さくいん」と、地形や防災・安全等の「資料さくいん」とを用意することで、生徒が容易に検索できるよう配慮するとともに、他分野の学習でも、主体的に課題に取り組めるよう工夫されている。	・「資料図」では、自然・産業・くらしなどの共通テーマと、州や国、地方、都道府県に応じたテーマを多く取り上げることにより、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「世界のページ」「日本のページ」とともに、隣接する陸地や海洋の続きを示すページが明記されており、隣国の地形や産業の特色、交通網など国どうしのつながりに興味を抱き、自ら主体的に学習に取り組むよう工夫されている。

具体項目

地図

観 点		発行者	東京書籍	帝国書院
2 でま のえ 特学 長指 導確 かな な領 学の 力目 の標 育や 成内 を容 図等 るを 上踏		(4)	・巻頭の「世界全体」の章や巻末の「日本全体」の章には、地図と写真、グラフのそれぞれを関連付ける効果的な配置がされており、それらの結び付きを考察することを通して、資料を活用する力を育成できるよう工夫されている。 ・一般図では、地図上に記した様々な記号の中に「注目したい記号」を示すことで、資料を活用するための手がかりが得られるよう工夫されている。	・「資料図」などのテーマ別の地図や巻末資料の多くに、グラフや統計が掲載されており、種類も豊富である。グラフや統計を、地図と関連付けて、活用する力を育成できるよう工夫されている。 ・「地球の環境問題」では、現在と過去の写真や地図、データが掲載されており、その推移や変化など考察し、自分の言葉でまとめる活動を通して、表現する力を育成できるよう工夫されている。
		(5)	・アジア、ヨーロッパ、北アメリカ各州の鳥瞰図が掲載されており、気候、交通、工業、農業の分布と関連付けながら、多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。また、海溝や大陸棚など海底の地形も記されていることで、海底と陸上の地形のつながりも実感を伴って理解することができる。 ・世界や日本の諸地域において、アフリカの「5歳までの死亡率」や九州の「水俣病の市町村ごとの認定患者数」等、各地域が抱えている問題に関する資料が掲載されており、社会的事象を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。	・世界のページ中に「同緯度・同縮尺の日本」や「赤道をはさんで反対側に置いた同緯度・同経度・同縮尺の日本」、「地球の正反対側に置いた日本」などを掲載し、日本の位置や大きさ等と比較することを通して、世界の地域の特色を多面的・多角的に比較・考察できるよう工夫されている。 ・同じ地域の地図をテーマ別に複数掲載することにより、自然・産業・くらしやその他、歴史的な内容などの視点から、地域の特色や課題を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。
3 ル学 デ習 ザ効 イ果 ンや の使 視い 点や から さの 表見 記や ・す 表現 や等 ・ユ 体二 裁の バー の特 長サ		(1)	・地図上に、農作物や水産物、主な歴史の舞台、世界遺産やジオパークの認定地等、他分野でも活用できる記載が豊富である。 ・文章は、簡潔にまとめられており、教科書で扱う語句を踏まえた記述になっている。	・文章や語句は、必要最小限にとどめてあり、地図や資料の補足説明や課題が適切に記述されている。 ・多くの注記が記載されており、語句や資料の説明及び注意点、読図のポイントなどを分かりやすく示している。
		(2)	・モンゴルのゲルに備え付けたバラボランテナ等、人々の生活の様子や変化が読み取れる写真が掲載されており、学習意欲を高め、効果的に学習が進められるよう工夫されている。 ・全体を通して、学習内容がイラストや写真、図表などで視覚的に分かりやすく表現されており、学習意欲を高め、効果的に学習が進められるよう工夫されている。	・「資料図」などに、1月の札幌（北海道）と名護（沖縄県）の様子を並べて掲載するなどテーマに沿った多くの写真、挿絵、記号などが豊富に掲載されており、興味・関心・意欲を高めるとともに、地図やテーマの理解を深めることができるよう工夫されている。 ・写真やイラストの大きさ、配置が適切で、地図を活用した地理の学習効果を高めるよう工夫されている。
		(3)	・写真やグラフが豊富に配置されており、大きさも適切であるため、学習効果の高まりが期待できる。地名には、赤文字に白ふちを付けて、文字が見やすいよう工夫されている。 ・折り込みページを用いて、「世界全図」「東北地方」「北海道地方南部」「日本の周辺」を詳しく示している。また、資料の検索を容易にするために、地域別や統計など、インデックスで色分けされている。	・地図の図法の詳細な説明が簡潔に分かりやすく示されており、テーマやコーナーに応じて図法や地図の大小、鳥瞰図等を適切に使い分け、理解を容易にするよう配慮されている。 ・理解を促す多くの写真や挿絵、記号を掲載するとともに、地図や鳥瞰図には色彩豊かで明るい色使いが施され、見やすくなるよう工夫されている。また、文字の大きさや色・字体を地名等で区別し、見やすく分かりやすい記載の工夫が施されている。